

平成 24 年度 社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻 修士論文作成・提出に関する要領

社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻において平成 22 年度以降に入学した学生が、修士論文を作成し、学位を取得するための手順と注意事項を以下にまとめます。該当者は下記事項を十分に理解し、指定された期日までに必要書類および修士論文を提出して下さい。都市社会工学専攻では、今年度も HUME 賞の選考と授与が実施されます。また、旧専攻所属学生は、旧専攻教務担当教員から配布される旧専攻版の注意事項に従って下さい。なお、提出すべき必要書類や論文サンプルについては、専攻 WEB の 2012 年度教務情報のページ <http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/ja/oncampus/kyomu2012> に示されている「修士論文作成・提出について」からダウンロードして下さい（ダウンロード 1～6）。

1. 学位論文審査願・論文目録、学位論文調書の提出（1 月 9 日（水）正午締切り）

平成 25 年 1 月 9 日（水）正午までに、C クラスター事務区教務掛に下記の 3 点を提出・報告して下さい。旧専攻学生もまとめて連絡願います。

- 1) 学位論文審査願・論文目録（ダウンロード 1）
- 2) 学位論文調書（ダウンロード 2）
- 3) 電子メールによる論文題目等の報告

- 書類提出後は、論文題目の変更はできません。修士論文の題目は、これらの資料の記述と同一であることが必要です。指導教員とよく相談の上、記入して下さい。
- 著者名は、戸籍あるいは外国人登録済み証明書のとおりに記載してください。
- 論文題目は、外国語の場合はその和訳も併記してください。
- 「電子メールによる論文題目等の報告」については研究室教員が研究室毎に取りまとめ、電子メールによって ronbun-chikyu@adm.t.kyoto-u.ac.jp に送信願います。以下の記入例にしたがい、学籍番号、専攻名、所属研究室、氏名、フリガナ、主査、副査 2 名、論文題目を連絡してください。1 人の情報を 1 行に、区切りは「半角カンマ」としてください。

【メール記入例】

メールの件名 : ○○○○専攻 修士論文題目の報告

メール本文

学籍番号, 専攻名, 所属研究室, 氏名, フリガナ, 主査, 副査 1, 副査 2, 論文題目 [改行]

1030231806, ○○専攻, 桂研, 百万遍花子, ヒャクマンベンハナコ, 桂一郎教授, 宇治二郎准教授, 吉田三郎准教授, ○○に関する研究

2. ポートフォリオの提出（1 月 31 日（木）正午締切）

ポートフォリオを最後まで記入して指導教員のサインをもらい、C クラスター事務区教務掛に提出してください。社会基盤工学セミナー A/B、都市社会工学セミナー A/B の合否判定のための資料となるので、必ず期日までに提出してください。

3. 修士論文の提出（2 月 15 日（金）正午締切）

A4 用紙に印刷（両面印刷可）された修士論文 1 部を 2 月 15 日（金）正午までに C クラスター事務区教務掛へ提出して下さい。

- 論文の書式に関しては、修士論文サンプル（ダウンロード3）を熟読し、指示に従って下さい。
- 研究室を通じて受け取った提出用封筒に、専攻名・研究室名・学籍番号・氏名を記入した封筒表紙（ダウンロード4）を貼りつけ、その封筒に論文を入れて提出して下さい。
- 論文提出後、速やかに主査、2名の副査の先生方に、各自、論文のコピーを提出して下さい。提出方法等に関して事前に十分に主査・副査の先生方と連絡を取り、確実に指定の期日までに届くようにして下さい。

4. 修士論文公聴会（2月21日（木））

修士論文の内容に関する公聴会を2月21日（木）に、桂キャンパスにて開催します。公聴会の時間割は、1月下旬に通知する予定です。

- 審査発表会までに2ページの「論文概要」を作成し、適当な部数のコピーを取り、公聴会会場へ持参して、発表が始まる前に聴講者に配布して下さい。「論文概要」の書式は、修士論文概要サンプル（ダウンロード5）に従って下さい。
- 液晶プロジェクター、論文概要等を用いて 15分の発表、5分間の質疑応答を行います。時間厳守に務めてください。

5. 修士論文審査会（2月22日（金））

修士論文の内容に関する審査を2月22日（金）に、桂キャンパスにて開催します。審査の会場と時間割は1月下旬に通知する予定です。

- 時間と会場を事前に確認の上、当日は会場の前に審査開始時刻の15分前までに集合すること。
- 審査では、主査と副査2名が公聴会での質疑応答も含めて、論文の詳細を試問します。同時に、論文の書き直しや論文概要の修正などがある場合には、指示があります。主査の指示に従い、修士論文、論文概要、その他公聴会で用いた資料等を持参して下さい。

6. 判定結果の通知（2月22日（金））

2月22日（金）の夕刻に合否結果を報告します。詳しい場所と時間は追って連絡します。

7. 修正済み修士論文原稿等の提出（3月1日（金）正午締切）

公聴会および審査等で指摘された事項等に関する修正を行って最終原稿を作成し、以下の3点を一式揃えて提出用封筒に入れ、3月1日（金）正午までにCクラスター事務区教務掛へ提出して下さい。

- 1) 修士論文をまとめた1つのPDFファイル、論文概要のPDFファイル、これら2つのPDFファイルを保存したそれを保存した CD-ROM 1枚
- 2) CD-ROMに納めたPDFファイルをA4用紙に印刷（両面印刷可）した 修士論文原稿1部
- 3) A4用紙に白黒印刷（両面印刷可）した 論文概要の原稿1部（2ページ）

PDFファイルの作成に際しては、修士論文のサンプル（ダウンロード3）に記述された「PDFファイルの作成方法とCD-ROMへの保存について」を熟読し、指示に従って下さい。論文概要に関しても、書き直し等が指摘された箇所は必ず修正して下さい。また提出用封筒は教員から受け取って下さい。

8. 履修コース修了証明申請書の提出（該当者のみ 3月1日（金）正午まで）

専攻で定める履修コース（平成23年度大学院学修要覧 pp.11（9）あるいは pp.17（9））で定める科目群を修得した場合は、履修コース修了証明申請書（ダウンロード6）を用いて申請してください。

不明な点は、教務担当教員の水戸准教授（桂 C1-1-216号室）あるいはCクラスター事務区教務掛に問い合わせして下さい。

以上

**平成 24 年度 社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻
修士課程修了に関するスケジュール**

1. **修士論文作成・提出に関する要領の研究室への配布（平成 24 年 12 月 3 日（月））**
修士論文作成・提出に関する要領を各研究室宛に配布する。旧専攻学生に対しては、旧専攻教務から配布する。要領にしたがって (1) 学位論文審査願・論文目録、(2) 学位論文調書、(3) 履修コース修了証明申請書を専攻 WEB からダウンロードする。
2. **学位論文審査願・論文目録、学位論文調書の提出（平成 25 年 1 月 9 日（水）正午 締切り）**
 - (1) 学位論文審査願・論文目録（印刷物を学生が提出）
 - (2) 学位論文調書（印刷物を学生が提出）
 - (3) 学位論文調書の内容に関する電子メール連絡（研究室毎に教員が連絡）
3. **公聴会・審査会の時間割の掲示（1 月下旬）**
時間割等は 1 月下旬に掲示、ホームページを通じて連絡予定。
4. **ポートフォリオの提出（1 月 31 日（木）正午 締切り）**
社会基盤工学セミナーA/B、都市社会工学セミナーA/B の単位認定のための資料となるので、指導教員のサインがなされたポートフォリオを必ず期日までに提出すること。
5. **修士論文草稿の提出（2 月 15 日（金）正午 締切り）**
 - (1) オリジナル 1 部を C クラスター事務区教務掛に提出する。
 - (2) 学生各自から、論文コピーを主査および副査 2 名に届ける。
6. **修士論文公聴会（2 月 21 日（木））**
 - (1) 公聴会を複数会場で行って実施予定。
 - (2) 公聴会資料として論文概要を適当な部数作成し、会場へ持参して聴講者へ配布する。
加えて都市社会工学専攻学生は、修士論文のコピーを 2 部持参して発表時に会場で回覧し、発表終了後に会場毎に設置した所定の箇所に提出する。
7. **修士論文審査会（2 月 22 日（金））**
 - (1) 修士論文審査を複数会場で行って実施予定。
 - (2) 全審査終了後、修士論文合否判定会議を実施する。
 - (3) 判定会議終了後、191 号室（予定）にて判定結果を通知するので、学生は全員出席のこと。
8. **修正済修士論文の提出（3 月 1 日（金）正午 締切り）**
以下の 3 点を揃えて提出
 - (1) 修正済み修士論文（A4 紙面に印刷したもの）
 - (2) 修正済み修士論文の PDF ファイルを納めた CD-ROM 1 枚
 - (3) 修正済み論文概要 1 部（A4 紙面に印刷したもの）
9. **履修コース修了証明申請書の提出（該当者のみ 3 月 1 日（金）正午 締切り）**
10. **修士学位授与式（3 月 25 日（月））**